



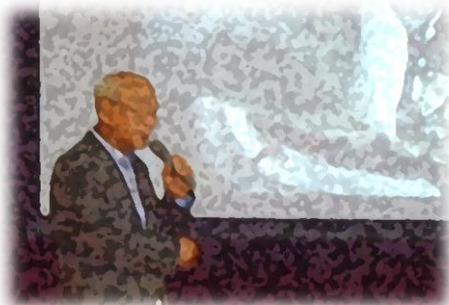
学校便り

ホームページ <http://kanai-es.sado.ed.jp> Eメール kanai-es@sado.ed.jp
佐渡市立金井小学校 平成29年10月25日 第7号

夢の実現に向けて

校長 羽二生 裕

木々の葉にも少しずつ色の変化が見え始め、秋への深まりを感じる今日この頃です。今、子どもたちは「スポーツの秋」から「文化の秋」を迎えています。子どもたちは、図工での作品作りに粘り強く取り組んだり、体育館での学習発表会に向けての準備や練習を友達と一生懸命頑張ったりしています。子どもたちの学級担任と一緒に取り組むその健気（けなげ）な姿を見ていると、心温まる思いを感じます。10月28日（土）が、金井小学校の文化祭です。金井小文化祭は、学校を地域に開き、地域への「学びの学校文化」の発信になります。保護者の皆様や地域の皆様の御来校を心よりお待ちしております。



さて、先月（9月28日）、金井小体育館にて「教育講演会」を実施いたしました。講師の先生は、佐渡市河原田ご出身の元・宇宙開発事業団（JAXA〔ジャクサ〕）宇宙教室推進室長 渡辺 勝巳様から、下学年（1～3年）と高学年（4～6年）に分けて、無重力である宇宙船の中の不思議な宇宙生活や宇宙飛行士になるにはどうしたらよいか・・・、

また、危険な宇宙に向かう宇宙飛行士のミッション（使命・役割）などを、分かりやすく映像やクイズを交えてお話いただきました。

金井小学校で進めている「キャリア教育」とも関連のあるお話でしたので、高学年の子どもたちは真剣な眼差しでお話を聞いていました。その内容の一部を紹介します。渡辺 勝巳様からは、高学年の子どもたちに、



- ① 自分の夢をもち、その夢を持ち続けること。
- ② 自分の夢の実現に向けて、努力すること。
- ③ 自分の得意な分野をつくり、そして一番になるものをつくること。

という3つの話（メッセージ）がありました。教育講演会が終わった後、私は校長室で渡辺さんと話をする時間がありました。渡辺さんは、正に先ほど子どもたちに話されていたことを、小学生の頃からずっと続けられていたことが分かりました。小学校高学年の頃から宇宙に興味があり、新聞や雑誌の宇宙に関する記事をスクラップし、今もずっと60年間続けられていること。また、高校卒業後の大学は文系であったが、自分の夢の実現に向けて宇宙開発事業団（JAXA〔ジャクサ〕）に就職をし、退職した今も全国各地で子どもたちや大人に宇宙についての不思議な話をしていることなど。子どもたちには、自分の夢を実現するには、「健康」と周りの人との「協調性」そして、これから宇宙飛行士を目指す人には「英語力」が大切であるという話をされました。

私は渡辺さんと話をしていて、金井小の子どもたちには、ぜひ自分の夢を小学生の頃からしっかりとをもって、努力を続け、自分で自分の道を切り拓くたくましさを身に付けて欲しいと強く思いました。